

信友

信友会事務局
東京都渋谷区東1丁目32-13
ビル・ナミキ橋
電話 03-407-1192

時の流れ

信友会会長 大河原 三平

近頃若い人と話をしていると、感ずることは、老兵の鮮明な記憶が、現役の中堅の人達にとつてさへ、既に歴史の次元であり、ときに伝説といった部類に入っていることすら多くなつて来たことである。

最近読んだ本に「防衛マイン」が欠陥装備の例に挙げられていた。理由は秘密性が無いというのである。事の当否は別として防衛通信回線の本質に焦点を当てての批判に、世の中も大分まともになつた、との思いと、当事者の苦心も知らないで、といった思いが交錯して複雑な気持ちになりました。今回はこの辺について少し聞いて貰うことにします。

そもそも「防衛マイン」の始まりは、昭和二十八年秋、保安庁庁議で「自営マイン」を整備すると決定されたときに始まるといえよう。庁議での反対論の主なものは、予算上の問題と、電電公社(今のNTT)が信用出来なくて何の防衛ぞ、といった時代がかった筋違ひの建前論であつた。これに對して決めた手となつたのは、極めて僅かな不心得でもその気になれば、盗聴は勿論、拳に広範囲に亘り混乱を起すことが出来る現在



ともあれこれが念願の「防マイ」の一步となつたのである。関係者の

の通信網の本質的な弱点を放置しておいて、国の防衛を云々するのは無責任である、といった論旨であつた。が丁度その頃正力松太郎氏が主としてTVの中継を狙つて「マイントップ方式」と称して、外国資本と技術を導入してマイン回線網を建設しようとする運動が起つた。これに對して通信は国家の重要な事項であるので電電公社ではなく、とする電電公社側と大論争中であつた。これは昭和二十九年二月頃国会の内閣委員会、電電公社方式に決定され決着はしたが、その際官公庁は原則として公社回線を使用することとなつてしまひ、従つて防衛庁としては公社回線借り上げ方式が続くこととなつた。

然し一方警察は既得権により、国鉄は独自回線で開発整備を進め、間もなく建設局で開水関係等自営回線を持つようになった。この間陸上自衛隊通信関係者としては、執念ともいえる情熱をもつて奮闘を繰り返して一方、部内検討を真剣に継続していったところ、昭和四十四年佐藤内閣総理大臣直接の指示で、非常事態対策の一環として、東京大阪間に防衛庁専用マイン回線(TO回線)が突貫工事の末完成した。当時の関係者の奮闘振りは、身内ながら実に天晴れであり又事後のフォローも見事でありました。

は引続き一挙に拡充を企図し「マインクロ計画」を設ける等大いに努力したが、暫く足踏み状態を余儀なくさせられた。そうした状況になると、防衛回線の本質を忘れ、目先の費用対効果論が台頭してネガティブに動く者が現れたり、さらには空幕の或る責任者が「そんなもの(防マイ)に金を出すくらいなら格納庫のエプロンを綺麗にしたい」との暴言まで出る始末等々で、外野席から眺めていて情けないようなことも屢々でありました。が通信関係者の継続した熱意と、ミグ二五事件での部内情報伝達の不手際その他深刻な反省との相乗効果か、「防マイ」への関心が傾き高まり、昭和五十二年着工の運びとなり今日に到つてゐる。さてその変調方式であるが私は、陸上通信としては鋭意デジタル化を進めていることでもあり、当然PCMと想ひていましたが、案に相違して現行の方式に決定された。理由の細部は知らないが、少くも技術上の理由ではなかつたのではと思つてゐます。

それとも今は昔、約十年経つてI DDNが事業化され、さらに永年タブーとされてゐた通信衛星の利用も決まり、名実共にDDNが整備されることとなり、御同慶の至りに存じます。思えば遠い道程でした。また組織を挙げて、本質追及の熱意を持ち続け努力を重ねておれば必ず報われ、お役に立ち得るようになるものだな、と特に感慨を深くしております。

永野茂門後援会より

信友会の皆様、貴重な紙面を拝借して、近況を御報告させて頂き、永野茂門も竹下経世会会長の安全保障専門家として、逐次脚光を浴びつつあり、国内は言うに及ばず、昨年は、七回海外に出張、世界各国を歴訪しています。後援会も、永野議員の政治活動

ソウルの同窓会に出席して

島末 稔

北朝鮮の旧威鏡北道羅南公立中学校出身の私は六人の朝鮮人の同期生が居たが、終戦により彼等の消息は全く不明となつてゐた。最近になり、その内の三人が南の韓国で健在(一人は大学教授、二人は会社社長)である事が判り、ソウルでの再会を打診したところ、早速実行の運びとなり、去る十月九日から三泊四日の日程で、東京地区の同期生三人と共にソウルへと飛んだ。その時の模様を一端を紹介したいと思ふ。

一、動乱時の悲劇
①旧日本陸軍大佐の切腹自殺
元駐オーストリア大使のA氏は、父親が旧日本陸軍大佐で終戦時であつたため、難町生まれで、番町小学校から新宿中学を経て羅南中学へ転校し、いまだに日本語の方が得意の由であつた。その父親が動乱時、ソウル地区の防衛戦闘を指揮したため、南への脱出が不可能となり、漢江北岸の丘の上で、捕虜になるよりはと切腹自殺され、今も現地に忠霊碑が立つて居る由であつた。

二、小学校時代の同期生との再会
戦車大隊長であつたB氏は、或る日、前線に捕らえた北朝鮮軍の砲兵大隊長が小学校時代の同期生であつた。しかも右足切斷の瀕死の重傷を負つて居り、「どうせ余命いくばくも無い身だから是非君の手で殺してくれ」と哀願され、泣きながら射殺した由であつた。

三、北朝鮮の特務工作
元文部次官のC氏は、韓国政府の代表として初めてソ連のある地方都市での学術会議に出席した時、その帰国の際、空港で北朝鮮工作員数名に取り囲まれ、誘拐されかけた。かねてから、もしもの時の救済を米国大使館に依頼してゐたお陰で、幸いにも丁度近くを通りかかった米国大使館員に飛び込み、間一髪で帰国する事ができたところである。

四、最近の学生運動及び労働争議
マスコミで派手に報道している

が、問題のある学生はほんの一握りに過ぎず、殆どの学生は社会的に不正に對する反発を表現して居るに過ぎない。又最近の労働争議も、韓国が今頃やっと資本主義経済の必然的な原因をたどりつつある表れで、その原因は戦後財閥の台頭による急激な富の格差に對する反発の由であつた。

五、日韓両国の若者達の比較
元韓国陸軍政務校のD氏は日本、北朝鮮の若者達をニュースで見て、韓国の若者達と違い日本人の若者達は、いまだに神や祖先を敬う精神を持つて居る。これこそ日本の驚異的發展の源泉である。」と云われた。すかさず筆者が反論したが、「例えお祭り騒ぎでも、深層心理にその精神が継承されてゐるからこそ神社参りをするのではないか」と云われた。

六、日韓両軍兵士の比較
諸先輩が口を揃えて「自衛隊員の方が、全員志願制であるため知能指数は高く優秀である。最近の

24周年総会・懇親会の御案内

本年信友会は創立24周年をむかへます。規定に基づき定期総会及び祝賀の懇親会を次のように実施いたしますので、会員の皆様の多数の御参加を希望いたします。
なお、懇親会は恒例により、現役と共催で、新信友会員(新退官通信幹部等)の歓迎を兼ねて実施いたします。

記

一、日時 63年2月27日(土)

●総会 16時30分より

●懇親会 17時より

二、場所 東方会館(前回と同じ)

豊島区西池袋3-17-12

電話 03-3987-0211

(池袋駅西口から徒歩約3分。西公園園西側の大通りの向い側)

三、会費 七、〇〇〇円(会場費いただきます)

【お願い】

●準備の都合上、出入について、同封のはがきで事務局まで御連絡下さい。

●当日、受付は非常に混雑しますので、なるべくお早めにこ来場下さい。

中部方面通信群

意気益々盛ん
検閲「優良」

創隊二十五周年

中部方面通信群は、三十八年三月三十一日創立、本年三月満二十五周年を迎える。

群は、中部方面の二府十九県内三十三ヶ所に展開して実務、訓練に精励し、伝統を継承し、方面隊の指揮の命脈たる通信任務を全うしつつ今日にいたっている。

総監訓練検閲

群は、六十二年十月二十九日から三十一日にかけて、中部方面総監の訓練検閲を受けた。

基地・野外合わせて八十七名、車両八十五両が青野原、日本原演習場及び管内各駐(分)屯地に展開した。

後半止むことのない大雨となったが、士気一層奮い立ち、ずぶぬれ、泥ねい、洪水の中、日頃の成果を遺憾なく発揮し、所期の任務を達成した。

人員、器材、車両共、無事故、無故障であった。また創意工夫は各方面において実行された。特に、パソコン通信ネットワークを構成し、周波数干渉計算、断面図作成による通信可否判定等、通信組織設計に大きく役立させた。

検閲結果の評価は「優良」をいただいた。年度最大目標として六次にわたる集中野営等の努力が報われ、隊員一同、喜ぶと共に、一層の精進を誓っている。

信友会の皆様へ

中部通信会会長 小嶋 孝太郎

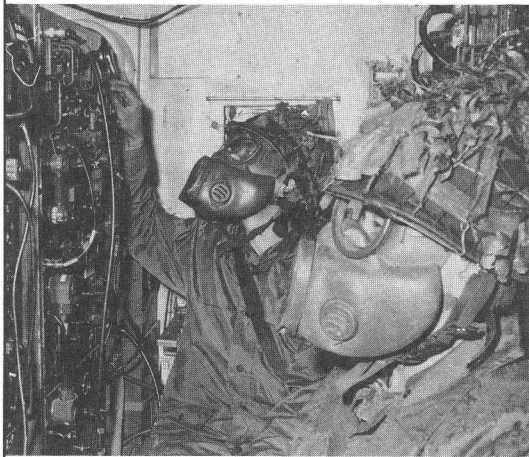


信友会のご発展を心からお祝い申し上げます。

私は初代中部方面通信隊長本庄政治様の時、本部スタッフとしてお仕え致しましたが、以来今日まで十三代群長田中常光様の時代に移っており、その間訓練検閲では、歴代群長ともご統率よろしく極めて立派な成績を挙げられ、私達群出身者と致しまして慶びに堪えないところであります。

「中部通信群は十一月二十九日から三十一日にかけて中部総監訓練検閲を青野原から日本原にかけて通信回線の構成並びに運営につき受閲し、成績「優良」の講評を受けました。これも通信会の皆様、の絶大な御支援の賜物です。又沢山の陣中見舞品を頂き有難う御座います。通信会の皆様によりしうお伝え下さい。」

以上の内容でした。謹んで御報告致します。



ガス状況下
回線調整中の搬送端局

隊友会の一員として

八木 剛

自衛隊OBの会には各種・部隊あるいは同期生等各種あるところですが、伊丹を含む隊友会兵庫支部連合会、信友会の関係者が活躍しておられるのにも珍らしいのではないかと、通信標準隊の初代隊長としておられた平尾さんが、約四年程前まで十年に亘り、連合会の副会長として隊友会のために貢献してこられ、随分お世話になりました。

その後伊丹・宝塚周辺の地域支部の改編にあたり、部隊分を再組織したので、中部通信群分会長には林重光さんが就任され組織の拡充に努められています。又支部連合会では、平野先輩の後を不肖私を受け持ち会計監事に小嶋孝太郎氏が就任されました。なお二年前から私は連合会の理事に滝沢公明氏も加わり活躍しているところで、就任して間もない小嶋氏と私ですが、昭和六十二年の隊友会全国総会において江崎真澄会長から功労章を授けられました。

今後益々OB皆様のため努力してゆきたいと考えております。又通信職種OBの多い地域ですの、信友会の地方組織としても役に立てることがあればと考えている次第です。

絆

村居 秀一

言えることは「生」と「死」の極限まで鍛え抜かれた厳しい訓練の日々を共に耐え、自らを励まして体験して来た者同志の集いだから、この思いは私だけでなく信友会の先輩諸兄におかれても多分同じではないかと思えます。それも楽しかった出来ごと、時には今にして冷汗三斗の思いをする事すらあります。このような思い出を語り合えるのは、年に一度か二年に一度御会いするOB会なる有難い組織のお蔭と常々感謝しています。

私も現に信友会の末席を汚しており、更に地域的には中部通信会等々(宇治)そして隊友会等々(宇治)に名を印しています。地域的な活動には積極的に参加しなければという気持ちは十分に持ち合わせていますが、仲々行動が伴わないというのが実情です。

昭和62年度 信友会会計報告

62年12月31日現在

収 入	支 出
前年度繰越金 827,852	慶弔費 60,000
終身会費 295,000	通信費 639,950
利子、寄付等 1,957,595	事務経費
計 3,080,447	計 699,950
残 高	2,380,497

(単位:円)

以上のとおり報告します。

昭和62年12月31日

信友会 幹事 鳥末 稔 ㊟
監査の結果 相違ありません。

昭和62年12月31日

信友会 監事 野村 明 ㊟

信友会 中部地区懇親会

中部方面通信群では、創立25周年を記念し、次を軸として多彩な行事を計画しております。

記念式典 63年2月21日(日) 10:00~

伊丹駐屯地内にて

祝賀会食 同 上 12:30~

伊丹第1ホテル(伊丹駅前)にて

信友会は、この記念行事に参加し、群創立25周年を祝賀すると共に、信友会中部地区懇親会を兼ねて実施いたします。

中方面管内信友会員及び関係あるその他の地区の会員には御案内がありますので、奮って参加されるようお願いいたします。

(信友会事務局)



信友会北海道地区懇親会

62年5月16日(土)「北部方面通信群27周年記念前夜祭」と合同で、札幌市内において開催。道内会員51名、内地会員39名、通信群 183名、群以外の通信科幹部47名、その他関係者を含め総計約 360名が参加する盛会であった。

「財団法人」自衛隊援護協会について

常務理事 登張史郎

三菱電機顧問から隊友会援護本部に移ってから早いもので五年たちました。この間、退職自衛官の就職援護事業に取組んで来ましたが、去る八月に援護本部は隊友会から独立し、財団法人自衛隊援護協会として再出発することになりました。そこで今回、機関誌「信友」に投稿する機会を得ましたので当協会の概要についてご説明を申し上げます。協会についてのご理解を頂き、今後ともご支援を頂きたいと願っております。

一、援護協会の設立の経緯について

援護本部は昭和五十四年十月に隊友会に設置され、組織も逐年拡充されて自衛隊と協力しつつ退職自衛官の無職就業紹介事業を行い成果を挙げて来ましたが、しかしながら、ここ数年退職予定自衛官の増加期でありながら、一方で雇用情勢は依然として低迷を続け、かつ隊友会援護本部に対する職業紹介事業のための補助金も年々削減の傾向にあることなど就職活動を取り巻く環境条件は大変厳しい状況にあります。これらに対処して、より強力な援護活動が出来よう援護本部の抜本的な見直しが必要が生じ、また業務の性格上からも隊友会から独立した組織として活動させることが望ましいとの結論に達したものであります。

このため監督官庁である防衛庁の指導を受けながら設立準備委員会を設けて準備を進めていたところ、八月十八日財団法人自衛隊援護協会として総理大臣の許可を受け設立の運びとなったものであります。

また無料職業紹介事業実施について十月一日労働大臣の許可を受け同日から活動を開始しております。

二、援護協会の内容について
(一)協会の事業について

- | | |
|---|---|
| 隊員に対する無料職業紹介事業を主な仕事として行うほか隊員に対する職業訓練の支援・隊員の募集、就職援護その他人事に関する諸問題の調査研究・隊員及び退職者並びにそれらの家族等に対する相互扶助その他福利厚生及び救済の向上・隊員の募集広報その他防衛行政の効率推進に寄与する事業等であり公益及び収益事業について将来にわたって幅広く活動出来る事業内容になっております。現在では設立当初でもあり、当面協会の財政状況などを勘案しつつ出来ることから逐次事業を拡大して行きたいと考えております。 | 大阪市東区
所長 玉光隆治 事務官OB
広島県無職就業紹介所
広島市中区
所長 山之内極章 陸OB
福岡県無職就業紹介所
福岡市博多区
所長 山之内極章 陸OB |
| (二)組織について
本部役員等は、会長江崎真澄・理事長上野隆史(前調達実施本部長・常務理事二名登張史郎(陸OB)丸野勲(労働省OB)のほか防衛産業関連等会社役員など合計三十名及び監事一名をもって構成されております。 | 仙台北本市
所長 牧田光雄 陸OB
仙台北無職就業紹介所
仙台北本市
所長 田中高茂 陸OB
東京無職就業紹介所
東京都新宿区
所長 中澤 誠 空OB
名古屋無職就業紹介所
名古屋市中村区
所長 桐山敏生 空OB
大阪無職就業紹介所 |

「柔軟性」口で言うのは易けれど

牛山正吾

官民を問わず、組織の大小のいづれの場合にも、個人の考え・行動においても、「柔軟性」の必要性が叫ばれ、又老化防止の意味からも、よく口にされる用語の、一つであります。ここでは研究業務の柔軟性の一例を考えてみたいと思います。

富士学校の富士修親会が発行している月刊誌「富士」の最近号に、機甲部研究課長M一佐が次のように述べています。「自分の課の研究員は、すべて年度当初、研究項目を割りふられてしまい、新たなテーマの入込む余地がほとんどない。今後この点を直していかうと思つて、この現象は各所でみられ、本来柔軟性が基本であるべき、研究業務の問題点の一つとされている。私が勤務する会社には、会社の

として逐次定員を増加し、これらの地域に対しても十分な紹介活動が出来よう態勢を強化する必要がある。このため国に対する定員増の要求にあつても、まずこの裏付となる自己資金の確保が必要であり前述の収益事業の充実と相まって計画を推進して行かなければなりません。

三、今後の問題点について
(一)無料職業紹介事業は、その大部分は国の補助金で賄われており、これが職業紹介のための事業費及び管理運営費(補助)についてはこの数年、100%の削減が続いており、その不足分は自己資金で準備する必要があります。このため財団法人として新たに収益事業部を設けいかんして収益をあげるかが協会として大きな課題となつております。

(二)現在の職業紹介活動は国からの補助金の関係上範囲に限られており、帯広・旭川・青森・北陸・山陰・四国及び南九州など十分手の届かない地域があります。協会

信友会会員の皆様におかれましては、援護協会の役割などにご理解頂き、今後ともご支援ご協力を心からお願いする次第であります。

四、協会の当面の姿勢について
協会は発足間もない状況であり、まず基礎的が重要であります。このため解決すべき問題点は多々ありますが、出来ることから地道に取組んで行きたいと考えております。いづれにしても退職自衛官の将来の幸福に寄与する重要な事業であるという認識の下に陸海空の援護機関等と緊密な連携をとりながら役職員一同専心努力する考えであります。

夏より熱い秋が来る

杉崎意市

建設省が提唱する全国都市緑化フェアは、昭和58年から始まり、62年は第5回目を迎えました。10月3日(日)、埼玉県営大宮公園を主会場に、川口市、浦和市、大宮市のサテライト会場で開催した花と緑の祭典・グリーンハート・さいたま87は、夏より熱い秋が来るを宣伝文句に11月15日(日)まで、楽しくて見どころいっぱい、花と緑を愛するすべての人に贈る緑のファンタジーランドです。

10月10日、浩宮様は主会場からサテライト会場まで御視察されました。私共19号台風一過の18日に主会場と大宮サテライト会場の一部を見て来ましたので、その一端を御紹介したいと思います。

県営大宮公園(主会場)
グリーンハート・さいたま87の主会場は、県営大宮公園(第二公園)18ヘクタールの広い会場に、花と緑を愛するすべての人たちのための施設や催しが盛りだくさんです。

●大花壇と緑の迷路
旧16号国道沿いのメインゲートから入ると、正面にフェアの象徴的な大花壇。圧巻されるほど大きく美しい。果の花サクラ草をイメージした五角形で、コスモス、リンドウ、サルビアなどで埋めつくされた景観はまさに百花繚乱、グリーンハート・さいたまの名にふさわしい美しさです。右手奥が緑の迷路、多品種かつ多様な生け垣が縦横に巡らされている。

●さいたまフラワー館
ここは、花のミニチュア、フラワーアレンジ、洋ランなど、フラワーを使っての創作など、光と香りを競い合う花の県民ギャラリーです。

●映像館(グリーンロード)
直径34メートルの巨大な半円型ドームの映像館。48台のスクリーンで、プロジェクターからコンピュター制御でグルグル三六〇度パノラマのスクリーンに投影される「自然・地球・人間がふれあう」映像とレーザー、音響が迫ってくる。

●映像館の隣りにテーマ館があり、緑・地球・人間をテーマにした各コーナーの展示。特に「蘭・世界大博覧会」で世界に輝いたランの紹介、マジックビジョンによる「タマ・ラマ」は目玉です。埼玉の緑と人間コーナーもあります。けやきのおじさんとハニーちゃんが続くファンタジックな世界に浸ることが出来ます。

●企業パビリオン
松下電器、日立、東芝、NEC、三井建設、本田技研、フジタ工業、竹中工務店、東京電力、東京ガスなど20数社が緑をテーマに先端技術を披露するパビリオンがズラリ、とても回りきれません。

●イベント広場
一〇〇人を収容できるイベント広場では、44日間にわたり毎日ショーやイベントが催されている。●ファミリー広場
ここで一休み。遊水池の周りは、憩い場です。ふれあいの広場では動物とふれあいが体験できる。

●緑の相談所
ステンドグラスで飾られた美しい緑の相談所、専門家との相談がでることです。

●水川神社参道会場
21世紀に向け「人間性豊かな緑の経済都市」を目指す大宮市は、緑あふれる街づくりをテーマに水川神社参道、市民の森、盆栽町の3か所のサテライト会場を楽しい催しを開催しています。水川参道は両側がよく整備されて面目一新し、サテライト会場として、展示館、バザール、家族広場、ワインパザール、ピエ・オ・カフエ、グリーンマーケット、子供広場など緑と調和した美しい街が体験でき、秋の散歩には最適です。

●市民の森広場と盆栽町会場へは回れませんが「花いっぱい運動」は市内各所に広がっております。とにかく一日中歩いて「疲れた」が実感でしたが、花と緑とのすばらしい出会いでした。

●緑のテーマ館
映像館の隣りにテーマ館があり、緑・地球・人間をテーマにした各コーナーの展示。特に「蘭・世界大博覧会」で世界に輝いたランの紹介、マジックビジョンによる「タマ・ラマ」は目玉です。埼玉の緑と人間コーナーもあります。けやきのおじさんとハニーちゃんが続くファンタジックな世界に浸ることが出来ます。

●企業パビリオン
松下電器、日立、東芝、NEC、三井建設、本田技研、フジタ工業、竹中工務店、東京電力、東京ガスなど20数社が緑をテーマに先端技術を披露するパビリオンがズラリ、とても回りきれません。

阿達憲

僥倖もあって、諸外国では当然の義務である国防に対し、冷淡な、と云うよりは寧ろ忘却の傾向に拍車をかけ、世論を慮り流され国政も真剣な取り組みを怠ってきた。

そして純軍事的指標では質的に高い水準にある自衛力を保有し、一応、自らの国を自らの手で守る

には全く論外の定めてあり、海外に於て外国高官への表敬訪問等に

ませんが、電車の中の過ごし方で体調がわかるような気がしている
 昨今である。入社当初の頃は、不

馬場一男

体調がわかるような気がしている。昨今である。入社当初の頃は、不

その二 東京の電車の混むわけは

ろである。お蔭様で年令のわりには、体が柔らかいなどと、おせじの一つも聞けて喜んでいるところ

残しの青春を、月一ゴルフのため
大いに使って、楽しい人生を過そ
うと思う。

に加入していることを誇りとして、
お互い元気で仲良く過してまいり
ましょう。
〈依田・杉浦・山田〉

24周年、終身会員数も約九〇〇名と増加し、通信科の団結の良さを示すものとして、各方面で有名

叙 勲

次の会員が叙勲の榮に浴されました。
心よりお慶び申し上げます。

【62.4.29・春の叙勲】

勲四等旭日小綬章 志 村 良 雄 (元通処副処長・陸将補)
" 釜 賀 一 夫 (元陸幕・陸将補)
勲四等瑞宝章 田 坂 善 重 (元調本・空将補)
勲五等双光旭日章 川 田 一 郎 (元通処長・陸将補)

【62.11.3・秋の叙勲】

勲四等瑞宝章 江 村 儀 郎 (元九処長・陸将補)
" 後 藤 芳 尾 (元通校副校長・陸将補)

信友会 新入会員 名簿

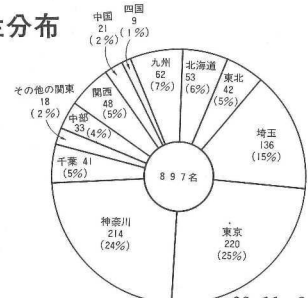
63.11.1 現在 66名

あ	氏 名	現 住 所 (電話)	勤 務 先 (電話)	最終所属
あ	青沼 幹夫	〒270 松戸市新松戸7-221 サンライスト ストラール五番街D-416 (0473-45-8415)	㈱アドバンテスト (342-7500)	通 処 (62.1.2)
い	生駒 耕作	〒078 旭川市豊岡2条2丁目 3-24 (0166-31-7460)	大雪サービス㈱	2 通 大 (62.3.14)
	伊藤 隆一	〒078 旭川市豊岡5条1丁目 2-7 (0166-31-0790)	㈱旭信ビジネス (0166-26-1161)	2 通 大 (60.11.10)
	生島 義信	〒239 横須賀市舟倉町2041 (0468-41-5759)	京急サービス㈱ (044-233-4321)	通 校 (62.7.25)
	池内 敬二	〒480-03 春日井市坂下町5 丁目1215-169	㈱ダイフク	春日井業 (61.12.17)
	石山 克典	〒220 飯塚市大字相田3- 141 (0948-24-7229)	第1道路サービス㈱ (093-618-1977)	3 高 特 群 (61.5.16)
	今泉 徳栄	〒816 大野城市下大利団地 23-203 (092-585-1489)	大新東㈱ 福岡支店	西 通 群 (61.4.1)
	岩崎 安友	〒071 旭川市末広東1条10丁目 207-96 (0166-57-3188)	㈱ビジネスコンピューター (0166-25-6411)	2 通 大 (61.11.12)
う	内沼 和夫	〒270 松戸市日暮840-309 (0473-85-1919)	三井銀行丸の内支店 (281-4921)	松 戸 業 (61.4.1)
え	江口 一之	〒861-21 熊本市秋津町山津 1827-6 (096-367-0098)	いすゞ自動車㈱熊本駐在 (096-557-2642)	健 軍 業 (54.7.11)
お	小口 誠勇	〒196 昭島市つつが丘2-5- 19-702 (0425-46-1425)	川村精管工業㈱ (338-2111)	中 基 隊 (62.1.1)
	小野 謙二	〒350 川越市吉田新田2-2- 2-8 (0492-32-7047)	群馬工業高等専門学校	通 処 (62.4.30)
	及川 雅道	〒124 葛飾区小菅4-16-1- 201 (0603-9502)	アンドール・システムサ ポート㈱ (450-8101)	東 北 処 ()
	大野 末松	〒070 旭川市忠和5条5丁目 33 (0166-61-6021)	神居台場ヶ原サンバレースキー学校 (0166-61-8482)	2 通 大 (53.5.12)
	岡崎 慶彦	〒071 旭川市末広5条4丁目 (0166-52-5149)	㈱プラザサント (0166-53-5259)	2 通 大 (53.6.18)
か	甲斐 卓慈	〒860 熊本市清水町大字新 地740 (096-344-1304)	星光ビル管理㈱ 熊本営業所 (096-322-1351)	西 通 群 (62.3.6)
	柿内 邦昭	〒862 熊本市健軍町3572-2 (096-367-6552)	ホーチキセキュリティ㈱	健 軍 業 (62.1.17)
き	木下四十美	〒238-01 三浦市南浦町上宮田 1334-12 ハイッ9-392 (0468-88-5382)	㈱大東パトロール (045-543-5107)	通 校 (62.10.2)
こ	小井土賢次	〒370-33 群馬県群馬郡榛名町本 郷945-1 (0273-43-3273)	安田火災海上保険㈱ 群馬支店 SC課 (0272-52-3225)	武処(吉井) (62.5.19)
	小池 司郎	〒240 横浜保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷町243 ファミリーハイッ3-207 (045-715-1498)	㈱大興電機製作所 (782-1111)	通 校 (62.1.2)
	小杉 武尾	〒070 旭川市4区2条4丁目 4-17 (0166-51-2479)	自営(小杉損保事務所)	2 通 大 (56.2.25)
	小林 邦敏	〒827 福岡県田川郡川崎町 大字池尻914-15	福岡ジャスコ㈱	(62.5.8)
	小山 治男	〒239 横須賀市ハイランド 1-50-9 (0468-49-3294)	安藤電気㈱ (733-1151)	通 校 (62.1.15)
	国府田 諒	〒330 大宮市南中丸306-11 (0486-83-3029)	住友海上火災保険㈱ 埼玉損害 調査課 (0486-44-5421)	通 処 (61.2.10)
さ	佐々木 速	〒412 御殿場市中畑536-3 (0550-89-3920)	矢崎部品㈱ 御殿場工場 (0550-89-5857)	装 開 隊 (61.7.25)
	佐藤 忠	〒239 横須賀市浦上台2-35 -4 (0468-42-3035)	日動損害調査㈱ 横浜サービス センター (045-212-1381)	通 校 (62.1.25)
	佐藤 武平	〒142 品川区豊町3-12-12 (781-2463)	馬淵商事㈱ (271-1826)	通 団 (50.10.2)
	佐藤 行男	〒070 旭川市4条13丁目左6 (0166-22-1201)	㈱旭川販売 (0166-22-1201)	2 通 大 (56.6.6)
	西條 信記	〒003 札幌市白石区平和通6丁 目南7-3 (011-862-9925)	高木正明事務所 (011-241-2375)	北 通 群 (61.11.6)
	齋藤 諭	〒066 千歳市寿2丁目1-12 (0123-23-1519)	大東京火災海上保険㈱ 苫小牧支店 (0144-34-4488)	調 別 (61.6.26)

	氏 名	現 住 所 (電話)	勤 務 先 (電話)	最終所属
さ	作見 勝	〒814 福岡市西区福重4丁 目3-32 (092-881-7338)	㈱西鉄グランドホテル (092-731-4869)	西 通 群 (61.12.20)
し	下山 一成	〒238 横須賀市公郷1-28 (0468-36-4009)	電気興業㈱ (216-1671)	通 校 (61.12.6)
	新 清美	〒071 旭川市末広3条7丁目 172-32 (0166-57-5572)	㈱旭信ビジネス (0166-26-1161)	2 通 大 (60.1.20)
す	杉山 安雄	〒238-03 横須賀市武5-4-2 (0468-57-1047)	大東パトロール㈱	中 野 群 (61.2.11)
た	田坂 忠彦	〒240-01 横須賀市芦名2-8 -14 (0468-56-9912)	安田火災海上保険㈱横浜支店 (045-311-1525)	通 校 (62.11.19)
	高橋 健一	〒070 旭川市川端3条7丁目 2625 (0166-52-7522)	㈱日優ゼンヤク (0166-54-4639)	2 通 大 (56.5.20)
	高橋 宜嗣	〒239 横須賀市久里浜1-16 -7-411 (0468-35-7077)	国際ビルサービス (045-441-7291)	通 校 (61.12.7)
	滝島 真臣	〒239 横須賀市久里浜1-7 -4 (0468-35-5745)	ニコー電子㈱ (045-542-4411)	通 校 (62.3.17)
	谷沢 武	〒070 旭川市旭町1条5丁目 (0166-51-5993)		2 通 大 ()
つ	辻 三郎	〒822-11 福岡県田川郡赤池町 大字上野665 (0947-28-4326)	石炭鉱業事業九州支部 飯塚事業所 (0948-22-8900)	3 高 特 群 (62.2.15)
と	豊田 友康	〒227 横浜市緑区桜台25-1桜台ビ レジ1B-201 (045-981-0167)	昭和電線電報情報通信事業部 (597-7055)	通 監 隊 (61.3.20)
な	中里 俊治	〒005 札幌市南区真駒内南 町4丁目2-6-301		11 通 大 (61.7.5)
	中本 吉昭	〒352 新座市新座2丁目18番17 -401号 (0484-77-1710)	日本無線㈱ (584-8806)	通 処 (62.3.16)
の	野本 悟利	〒431-32 浜松市笠井新田町 940-2 (0534-34-4877)	新日本ホール工業㈱ (0534-36-2311)	10 特 連 (61.4.18)
は	長谷川秀成	〒280 千葉市桜木町656-1 (0472-32-2630)	住友海上損害調査㈱ (272-3211)	高 射 校 (61.5.14)
	馬場 一男	〒239 横須賀市野比3001 (0468-48-1204)	松下通信工業㈱ (436-5731)	通 処 (62.8.31)
	蜂谷 博史	〒176 練馬区旭町2-22-17 (976-6229)	㈱日立アドバンストシステムズ (045-881-1221)	調 別 (62.)
	原 利治	〒078 旭川市神楽岡10条4丁目 6-29 (0166-65-2508)		2 通 大 (58.3.17)
ふ	福浦 達雄	〒238 横須賀市森崎4-1-28 (0468-34-1515)	住友海上損害調査㈱ (045-671-7033)	通 校 (62.7.14)
	古田 正一	〒175 板橋区赤塚新町3-27 -13 (975-4698)	㈱丸菱モータース (813-3841)	1 通 大 (50.2.28)
	吹野 豊	〒236 横浜市金沢区並木2- 9-1-103 (045-781-6123)	三波工業㈱ (045-621-3841)	通 校 (63.1.15)
ま	前川 秀光	〒070 旭川市春光6区4条3 丁目 (0166-52-1895)		2 通 大 ()
	松岡 時彦	〒071 旭川市末広1条4丁目251 -241 (0166-52-3690)		2 通 大 (60.3.25)
	松田 正夫	〒412 御殿場市六日市場84 -7 (0550-83-2735)	三島信用金庫本部 (0559-73-5555)	東 方 通 群 (61.12.7)
み	水野 隆夫	〒462 名古屋市中区東大曾根町中 3丁目474 (052-991-3839)	東京海上火災保険㈱名古屋支店 (052-331-0261)	中 方 通 群 (61.4.8)
	宮本 進	〒080 帯広市南町東1条6丁目 27 (0155-48-1015)	帯広明神大社 (0155-24-1329)	5 通 大 (52.6.25)
も	望月 靖三	〒350-12 埼玉県入間郡日高町武蔵 台1-22-3 (04298-2-2043)	新電元工業㈱ (279-4434)	通 処 (62.3.5)
	森藤 悟	〒071 旭川市末広3条4丁目 850-28 (0166-52-3870)	㈱海老農水 (0166-24-3811)	2 通 大 ()
や	八木 輝彦	〒143 大田区大森中2-2-18 -1204 (763-5430)	セントラル警備保障㈱ 東京事業本部 技術部 (344-1741)	通 校 (62.5.1)
	山田 昭典	〒351 朝霞市根岸台7-26-8 (0484-65-1861)	学校法人 国士館 (422-5341)	1 通 大 (53.11.1)
ゆ	油井 碩也	〒239 横須賀市佐原5-8-21 (0468-34-7918)	日新火災海上保険㈱横浜査定オ フィス (045-662-1626)	通 校 (61.12.15)
	行基 健一	〒239 横須賀市馬堀海岸3丁 目18-16 (0468-43-3453)	神奈川電機 (045-261-4661)	通 校 (62.9.14)
よ	吉田 俊光	〒331 大宮市日進町1-414-2 ハイッコーヤ 103号	日進電子㈱ (0488-55-3761)	通 処 (61.11.24)
	吉村 孝治	〒487 春日井市岩成台 4-1-4 (0568-92-5470)	名古屋ビルサービス㈱ (052-962-2495)	10 通 大 (61.6.24)
	横谷 敏造	〒065 札幌市東区東苗穂6条 1丁目7-62 (011-781-4076)		北 通 群 (49.7.1)
わ	渡邊 嘉武	〒121 足立区花畑5-6-7- 302 (884-8075)	ニコー電子㈱ (045-542-4411)	通 校 (62.10.1)

信友会員の現数と居住分布

信友会の正会員の現勢力は
約 900名となりました。
このうちの約7割が、首都
圏(1都3県)に居住して
おります。



62.11.6 現在

名簿の修正

ペ ー ジ	氏 名	現 住 所 (電話)	勤 務 先 (電話)	最終所属
1	安嶋 敬		削 除	
"	阿川 智		東京総合警備保障㈱神奈川支社 (045-314-0531)	
"	阿部 春樹	〒001 札幌市北区新琴似9-12-970 (011-761-3117)	削 除	
2	浅里 國義		ヒメプラファニチャー㈱ (0792-67-1875)	
"	朝倉 勇	〒064 札幌市中央区南24条西9丁目札幌南 プリンスハイツ 706 (011-511-5738)		1 教 団 (40.12.15)
"	荒川 友貴	〒236 横浜市金沢区能見台 2-22-9		
3	荒木 貞夫	(0792-94-1321)		
"	安藤 公一		(0958-79-4087)	
"	阿武 泰亮	(08382-7-0503)		
"	有賀 昇		東京電設サービス㈱神奈川支社平塚 保守センター (0463-23-9980)	
4	生駒 卓也		(045-211-1123)	
"	伊藤 厚	〒061-22 札幌市南区藤野5条9丁目 466-16 (011-591-3889)		
"	伊藤 恵基	(022-362-6542)	日本電気システム建設㈱ 東北支店 (022-265-3304)	
"	伊藤 正康		(433-5270)	
5	飯嶋 達		(044-822-1122)	
"	飯田 正雄		(有)飯田企画 (408-0948)	
"	池上 郁二	(0423-74-3589)		
"	池田 照彦		㈱イー・アイ・エス (260-3833)	
"	石井 齊			
"	石川 潔		京業ロードメンテナンス㈱ (521-2622)	
"	石澤 恭一		自営(学習塾) (0482-85-7479)	
6	稲毛 長右衛門	(022-358-6158)		
"	猪原 豊志	(転居先不明)	削 除	
7	岩木 英雄		丸和建设㈱ (0423-91-7080)	
"	今村 秀敏			相 浦 業 (49.6.30)
"	岩熊 治実		日進電子㈱ (0488-55-3761)	
"	岩田 孝一		㈱ABCサービスビューロ	
"	岩水 公雄		(0824-23-2511)	
8	宇治山龍彦		(0476-32-8554)	
"	上野 攸			通 処 (55.3.6)
"	植木 稔		(447-2111)	
"	植原 弘	〒183 府中市住吉町4-35-48 (0423-61-9951)	常盤通商㈱ (0423-61-9951)	
"	牛山 正吾		(044-548-5101)	
"	内田 久夫		(232-5111)	
"	槍田 明	〒331		
9	江副 章		削 除	
"	江村 儀郎	〒247 横浜市栄区小菅ヶ谷町 2804-454 (045-892-8896)		
"	遠藤 棟一		自営(行政書士事務所)	
10	小川 勝衛		削 除	
"	小川 敏隆		中国通信警備保障㈱	

ペ ー ジ	氏 名	現 住 所 (電話)	勤 務 先 (電話)	最終所属
10	小川 彬夫		(344-1741)	
"	小野澤 孝治郎	〒274 船橋市高根台4-10-4 (0474-64-4392)	(496-6425)	
11	小山田 晋	(011-373-4934)		
"	緒方 正彦		船橋市北部清掃工場	
"	大石 光正		(356-0491)	
"	大逸 静夫	(0942-75-8371)	東和大学(092-541-1511)	
"	大草 清美	〒331		
"	大草 善明		削 除	
"	大久保顕示		削 除	
12	大熊 俊夫		(091-541-0161)	
13	大西 昇		(405-5365)	
"	大沼 秀男		大明化学工業㈱東京工場 (0423-93-1311)	
"	大橋 桂		セントラル警備保障㈱ (344-1741)	
"	大湊 直助	〒064 札幌市中央区南26条 西8丁目2-13		
"	大森 俊次		削 除	
"	大森 昇		大森行政書士事務所	
"	大山 義一	〒331	日進電子㈱ (0488-55-3761)	
"	太田 英二	(0123-32-5850)		
14	太田 正司			技 本 (43.3.8)
"	岡田 公映	(304-3723)	(044-522-7201)	
"	岡田 祥一		削 除	
"	岡部 忠夫	(0427-43-3982)		通 校 (46.1.19)
15	乙坂 進		削 除	
"	尾上 通夫	(0996-62-9950)	(0996-63-2469)	
"	折山 昭秋	〒244 横浜市栄区飯島町 1773-15	(045-891-1247)	
"	加藤 高久		裕生興業㈱ (572-8754)	
16	笠野 繁	(0492-31-1813)		
19	久野 春夫		永野茂門後援会事務所 (401-7207)	
16	粕山 英一		日本高速道路施設管理㈱大阪管 業所 (06-541-1827)	
"	片岡 源立	(0463-95-3439)	削 除	
"	勝又 恒雄	〒509-51 土岐市泉町緑ヶ丘 1490-49 ㈱山加清友寮内		
"	釜賀 一夫		外務省(電信課) (580-3311)	
"	上村 恒三		日本割引短資㈱大阪支店 (06-203-6835)	
17	川野 晴治	〒331		
"	川俣 栄一		小山工業高等専門学校	
18	木崎 進	(0550-89-6276)	(0559-23-7741)	
"	木村外紀男		安田計算センター㈱ (348-5691)	
"	喜古 徹	(022-362-9021)	山陽電気工事㈱仙台支社 (022-236-3191)	
19	清藤 健		協同組合 熊本コスモ事務局 (096-362-0622)	
"	工藤 史郎		(022-263-3941)	
"	久保田 茂			中 方 (44.7.1)
"	公文 龍美	〒245 横浜市泉区和泉町 6212-3-8-501		
"	櫛山 太平		削 除	

ペ ジ	氏 名	現 住 所 (電話)	勤 務 先 (電話)	最終所属	ペ ジ	氏 名	現 住 所 (電話)	勤 務 先 (電話)	最終所属
20	黒川 三男		削 除		31	田中 恭一	〒071		
"	黒田 輝彦	〒244 横浜市区飯島町 1773-62	削 除		"	田中 勇孝		神奈川県専修学校各種学校協会 (045-312-5743)	
"	黒田 秀雄		㈱東研 (755-3020)		32	高久 久雄		(770-7250)	
"	桑原 三男		(441-2528)		"	高草木未代		削 除	
21	小泉 隆次	〒333 川口市大字芝二丁目 10-10			33	高橋 眞吉		菊名スカイマンション管理室 (045-402-1213)	
"	小嶋 孝平		(443-3520)		"	高橋 長雄		東京海上㈱京都支社 (075-241-1166)	
"	小島 重義	〒351-01 和光市諏訪原 2-6-205	(232-5111)		"	高橋 久吉	〒240 横浜市区宮ヶ谷 61-4-401 (045-316-6722)	グレート㈱ (477-0288)	101通大 (36.12.15)
"	小沼 幸雄		アドシテムズ本田エレクトロニクス㈱ (0422-55-7101)		"	高橋 秀夫		㈱タカナナ大宮出張所 (0486-66-1809)	
"	小林 登		(0425-83-8011)		34	高橋孫三郎		白雪㈱ (022-223-1177)	
22	小牧 利治		千葉市都市緑化植物園 (0472-64-9559)		"	高橋 実	〒331	(986-0592)	
"	小柳 正行			通 処 (60.11.1)	35	立花 喜七		削 除	
"	児玉 仁男	〒737 呉市平原町15-22 (0823-21-7524)	電気興業㈱広島営業所 (082-294-4611)		"	谷川 啓喜	(022-233-4778)		
"	後藤 忠司	〒319-13 茨城県多賀郡大王町大字 伊師3915-7 (0293-32-6572)	削 除		36	丹野 泰蔵		(739-2485)	
"	後藤 守男	(0468-35-7321)			"	田村 稔夫		(378-3111)	
"	神志那昌男		(09742-2-5717)		"	千葉 茂夫	(022-373-2759)	ソニーマグネブログックス㈱ (022-367-2111)	
23	佐々木 繁		(431-9216)		"	千葉 忠		削 除	
"	佐々木新五		(258-5171)		37	塚田 然応		(045-546-1231)	
"	佐々木新平	(0229-23-1516)			"	塚田 宜伸		㈱東京アドバンソフト (939-5841)	
"	佐々木民喜		東京海上火災保険㈱ 仙台支店 (022-225-6316)		"	塚本 弘満		削 除	
24	佐藤 荒男		ユタカ電気㈱ (044-833-7901)		"	堤田 明	〒244 横浜市区飯島町 1773-19		
"	佐藤 静夫		住友信託銀行神田支店 (252-6321)		"	鶴身 進		自営(造園業)	普通寺業 (48.7.23)
"	佐藤 昇丈		日本信販㈱川越支店		38	寺田 仁		削 除	
"	佐野 穂		削 除		"	徳川 一郎	〒213 川崎市高津区新作 4-5-3		
25	坂 茂巳		技研化成㈱池尻パックスセンター (0727-71-0180)		"	富田 時男		(726-3311)	
"	作左部 仁		(0468-34-6446)		"	豊田 亀吉	〒251 藤沢市藤沢2494 (0466-81-3885)		
26	志村 良雄		日動火災海上㈱ 西東京支店 (0425-27-5413)		39	内藤 順二	(025-266-4796)	新潟ハイウェイサービス㈱ (025-241-2276)	
"	椎葉 秋登		東管建物管理 (433-1111)		"	中澤 泓			
"	重田 耕二	〒273-01 鎌ヶ谷市東道野 辺6-4-60			"	中條 宏光	(022-234-8760)		
27	篠田 秀雄	〒371-01 前橋市鳥取町 854-11 (0272-69-5990)			"	中武 敬秀	〒004	削 除	
"	島田 國司	〒331			40	中原 正行	〒181 三鷹市井口2-10-25		
"	下井平三郎	〒194 町田市つくし野3丁 目23-4 (0427-96-0965)			"	中村 幸衛		防衛施設周辺整備協会 神奈川支所	
"	下川 重夫	〒175 板橋区西台四丁目3 番5-904 (934-2687)			"	中村 良平		(354-2068)	
"	正村 菊雄		削 除		"	永田雄一郎		削 除	
28	新明 敏男	〒065 札幌市東区北51条東7丁 目3-3 (011-722-4726)	削 除		41	永山 良文		関東電気保安協会神奈川事業本部 (045-253-1261)	
"	菅 収治		削 除		"	西 親晴		住友海上火災保険㈱ 川内支社 (0996-23-8191)	
"	菅谷 育夫	〒178			42	西沢 正浩		自営・はり きゅう 八雲治療院 (0468-49-7609)	
"	杉浦 裕孝	〒272-01 浦安市入船3-51- 102 (0473-53-5494)			"	根笹 辰男	〒240 横浜市保土ヶ谷区藤原町79-143 保土ヶ谷グリーンタウンN-401号		
29	鈴木 正臣	〒244 横浜市区飯島町 1773			43	野元 昭利	〒331		
"	隅田 安治		(430-5333)		"	野呂 国雄	〒239 横須賀市津久井555 グリーンハイツ6-3-401		
30	関口 武	〒331			"	波多江典夫		削 除	
"	関根 千吉	〒189 東村山市多摩湖町4- 33-49 (0423-93-0867)			"	長谷川正男			通 処 (43.2.11)
"	藺田 英雄	〒331			44	秦 秀重	〒191 日野市東平山2-23- 46	ファナック㈱ (0555-84-5555)	
"	染谷 倍実		(457-3055)		"	八谷不二男	(052-444-3636)	基日寺町傷痍軍人会 (削 除)	

ペ ジ	氏 名	現 住 所（電話）	勤 務 先（電話）	最終所属
44	華岡 吉男		東京ユタカ電子㈱ (758-6211)	
"	英 一男	(711-5875)		
"	浜田 栄一		㈱野村健康センター (545-5693)	
45	林 加平		千代田生命相互会社恵庭営業所 (0123-32-3775)	
"	林 増三		削 除	
"	林田 一郎	〒330 大宮市今羽町477-9, 7-204		
46	引越 幸宏			海田市業 (58.3.21)
"	疋田 久雄		削 除	
"	秀嶋 正三		削 除	
"	平尾 治		削 除	
"	平野 芳信		(093-521-9661)	
47	廣嶋 清彦		(045-983-7932)	
"	福島 忠吉		(0422-56-1220)	
48	藤井 伝		自営・損害保険代理店 藤井保険事務所	
"	藤島 晋		(0424-87-1322)	
"	藤田 和秀		自営 行政書士、社会保険労務士、安 田火災海上代理店 藤田事務所	
"	藤田 耕三	(0552-76-0766)	削 除	
"	藤原 義雄	(022-258-1309)	(022-291-5165)	
"	藤本志美雄	〒300-12 牛久市柏田町 3605-354		
49	古河 邦夫	〒969-34 福島県河沼郡河 東町大字金田字村前丙14		
"	古谷 清		自営（農業）	
"	古屋 良広	〒331		
"	波々伯部 圭佑			幹 校 (58.8.15)
"	坊 健榮			通 団 (53.5.14)
"	堀池 正夫			幹 校 (40.10.1)
"	堀内 道夫		(0422-56-1220)	
"	堀内 康行	〒228 相模原市上鶴間7-9- 2-410		
"	堀之内三郎		日本電気システム建設㈱九州支 店 (092-271-6700)	
50	本田 高治		ウエダ製作所東京商品センター (0489-42-7863)	
"	真鍋 隆		テクノジャパン (470-0755)	
"	前岡 勇	〒350-13 狭山市狭山台4-1- 10 (0429-59-8047)		
"	前田 博	〒562 箕面市瀬川2-10-17 (0727-24-5827)		
"	増田 登	〒059-12	削 除	北 通 群 (53.2.13)
51	松尾 正人	〒331 (0486-65-8301)	(0492-24-4171)	
"	松崎 信一	(0996-67-1328)		
"	松田 年治		(011-221-8501)	
52	松本 直嘉		(762-5545)	
"	松本米二郎		(501-7351)	
"	三浦 二郎		永野茂門後援会事務所 (401-7207)	
"	三島 正治	〒183 府中市晴見町2-1-2- 204		
"	三原 康功		(044-211-5881)	
"	美奈川 大		㈱NDS (866-2225)	
53	水間 康夫		㈱東急コミュニティー (461-0115)	

ペ ジ	氏 名	現 住 所（電話）	勤 務 先（電話）	最終所属
53	六浦 武	(0466-81-5627)		
54	村上 保	(022-373-9104)	中嶋病院	
"	森 繁實		削 除	
55	森本 隆	〒666-02 兵庫県川辺郡猪名川町若 葉1-35-10 (0727-66-4073)	削 除	
"	森本 忠吉	〒005		
"	森山 條夫	〒816 福岡市南区警弥郷1- 21-12 (092-585-9131)	MM地建企画㈱ (092-591-8344)	
"	矢野 貞徳		㈱埼玉県下水道公社 古利根川 支社 (0480-22-3819)	
56	柳沼熊三郎	〒244 横浜市戸塚区上倉田 町1874		
"	安成 季隆	〒178		
"	山崎 逸男		池田金属工業㈱ (0462-61-1911)	
"	山田 純一		削 除	
57	山原 保		(441-2528)	
"	山本 筑郎	〒178 練馬区大泉学園町2- 27-4 (978-5146)		
"	鎗分 淳司	(045-711-6190)		
"	湯田 松夫		中川昭一事務所 (0155-27-2611)	
"	依田 尊之		東京ユタカ電子㈱ (758-6211)	
"	横山 祥一	(022-372-5321)		
"	吉川 昭光		㈱エマーズ柏事業部 (0471-63-1131)	
58	吉武 徹也		東京ユタカ電子㈱ (758-6211)	
"	吉武 弘人	〒331		
"	吉原 義久			空 自 3 補 (46.7.15)
"	吉村 信彦		(814-0657)	
59	渡邊 敬		東京海上火災保険㈱ 千住支社 (888-7641)	

訃 報

本年度、次の方が御逝去されました。
謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

氏 名	御逝去年月日	御 遺 族 住 所
大 村 重 信	61.8.29	〒769-22 香川県大川郡志度町鴨部1268-2
荒 牧 克 喜	61.9.24	811-33 福岡県宗像郡津屋崎町大字宮司1900-22
永 田 敏 彦	61.12.30	192 八王子市片倉町510
村 島 政 美	62.2.2	162 新宿区戸山町2-20-503
松 本 義 和	62.2.15	963 郡山市大町2-19-10
宮 田 泰 司	62.2.15	336 浦和市白幡3-1-9, 2-209
亦 野 進	62.4.5	330 大宮市丸ヶ崎町51-2
大 越 静 一	62.7.21	310 水戸市元吉田町59-26
長 沼 義 一	62.7.21	245 横浜市戸塚区深谷町86-4
三 井 靖 彦	62.11.5	181 三鷹市井口322

顧 監
問 事

山 櫻 安 野 依 矢 森 武 林 杉 下 高 嶋 田 大
本 崎 村 田 口 藤 藤 浦 川 末 崎 中 河
筑 義 文 弘 輝 和 裕 重 五 月 邦 原
郎 雄 操 明 彌 丰 雄 敏 巖 孝 夫 稔 明 三
平

幹 副 会
事 長 長

信友会の役員